

教育委員コラム

教育委員リレーコラム

「日本人として持ち続けていきたいこと」

教育委員 榎本 悦子

今は少々関係が悪化している中国ですが私には縁がある国で、私共の会社（お宿欣喜湯）では5年前まで中国山東省から研修生を受け入れていました。

その後、私の娘二人が北京と山東省にそれぞれ3~4年住んでいたため、私もどちらにも行く機会がありました。

8年間18人の研修生と接し、また娘達も中国人だけではなく様々な国の人と交流があったので、外から見た日本を初めて知りました。

中国で娘達が一番面食らったのは、中国国内で一日中放送される「日本鬼子」(リベツグイ)の抗日ドラマと、普段は仲良くしていても歴史の話になるとスイッチが入ったように皆異口同音に抗日を唱えることだったようです。

攻撃されても反論しきれないのですが、「日本ではきちんと歴史を教えていない」が最後の言葉。

また、北京で韓国人とルームシェアしていた娘は戦争時のことを知り、申し訳ない気持ちでいっぱいだったようです。

ただ、抗日の気持ちはあるものの、日本の清潔さ・日本人の礼儀正しさ・公共心・親切心・誠実さは誰でも認めるところで、子供は日本に留学させたいと思う人も多いそうです。

私共にいた研修生が、仕事の始まりと終わりに「おはようございます」「失礼します」「お疲れ様でした」などと交わす挨拶に感心するので、日本的な事なのだと思いました。

今、日本のおもてなしは世界中でもレベルが高いとされています。

私達日本人は言われる前に、相手の仕草や表情からのその気持ちを汲み取って応えるということを習慣にしてきたので誰もがおもてなしの気持ちがあり、ましてや仕事ともなれば接客のレベルは高くなったのでしょう。私共旅館業はお客様と接する時間が長いので更に培われてきたものがあるのかもしれませんが。

このような日本人としての良いところは、これからも持ち続けたいものだと思います。

(次回のリレーコラムは菅原委員です)



弟子屈町教育委員会



〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場
電話：015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>



教育あっちこっち情報

午後からの運動会を応援して

いつも弟子屈小学校の運動会は、午前中の徒競走の時間帯に伺っていました。今年は、団体競技の多いお昼からの応援です。

団体競技の魅力は、みんなが一体となった躍動です。

時々風もありましたが、天候に恵まれて青空のもと進行に、応援に、そして各種目に一生懸命の姿は、とても良かったです。

ハリケーン A・大玉運び・騎馬戦と進み、最後に紅白選手リレーは、最高の盛り上がりで、子供達の歓声や、保護者の皆さんや、観衆の声援もうねりの様に聞こえ感動しました。

子供たちが、一致団結した運動会の経験を今後につなげてほしいと思います。

教育委員長 小澤 重



町内の施設を視察しました

6月26日弟子屈小学校で移動教育委員会があり、その後社会教育委員の方々と町内の社会教育施設を視察しました。川湯の青少年体育館をはじめに、温水プール・ゲートボール場・屈斜路のアイヌ民族資料館・更科源蔵資料館・町営野球場・修武館・てしかがの蔵など半日かけて廻りました。

それぞれ個別に行ったことはあるものの一括で廻ってみると、老朽化して役目が終わったと思われる施設やもっと活用が期待される施設などあり、弟子屈町の時間や人口の移り変わりを感じました。改修も含めて大きく見直さなければならぬ今、今後の事を見据えてより多くの町民が快適に利用できる施設であって欲しいと思いました。

教育委員 榎本 悦子



「ジュニアパークレンジャー事業」

町内の小・中学生による同事業が、去る7月3日開催された。

2006年度からの「クリーンタッチ」清掃活動、2010年度からの「グリーンタッチ」植樹活動に引き続いての外来種駆除活動である。

当日は美留和小学校に伺って子供たちの活動を拝見させて頂いた。駆除場所である学校からほど近い場所に移動し、パークボランティア指導員の方から国指定の特定外来種である「オオハンゴンソウ」の説明や見分け方・駆除の仕方をレクチャーしてもらい活動が始まった。

『ここにもある〜』と次々にオオハンゴンソウを見つけた子供たちは、きれいに根っこから引き抜いていった。

たまに間違っってそっくりの「ヨモギ」を抜く姿も（笑）見られたが、短時間で山もりの成果となった。

完全な駆除とはなかなか行かないが、根気良く抜かなければ少しの根残りがまた拡散し繁殖すると教えて頂いた。

嫌われ者の外来種「オオハンゴンソウ」だが、その大地に根付く力強さ・抜かれても諦めずに立ち上がる根気良さは子供たちに似てほしいものだと考えさせられた。

教育委員 菅原誓之



移動教育委員会と給食体験

教育委員会は毎月1回年間全12回の定例教育委員会を開催し、様々な議案や案件について審議や協議をしています。その内6月と7月の定例教育委員会は「移動教育委員会」として学校訪問を兼ねて学校で開催しています。

7月19日午前9時25分川湯小学校で開催。

最初に全教職員・教育委員・事務局職員の自己紹介。音楽室を借りて通常の定例教育委員会を開催し、その後全学年の授業参観。引き続き川湯PTA正副会長と校長・教頭を交えての教育懇談会を開催。校長から「川湯小学校の概要」の説明の後、学校全般について意見交換し、課題や要望が出されました。

次に給食体験。メニューは「かきあげうどん・ごまだんご・牛乳」。児童生徒の人気メニューの一つ「麺類」とあって、子ども達は大喜び。私達が食べたのは小学生用ですが、大人でも十分満腹感を感じさせる量でした。

給食センター松谷栄養士は「鉦路前浜の根昆布と削りぶし4kgから5kgを使って「だし」を手間をかけて作っているの、大変美味しく出来上がっていると思うよ」と語ってくれました。

何時も栄養バランスを考えた安全安心の給食づくりに励んでいる給食センター全スタッフに感謝！

教育長 小林 俊夫



弟子屈中学校吹奏楽部コンサート

7月7日晴天の下で、弟子屈中学校吹奏楽部のコンサートが中学校玄関前のテシカ広場で行われました。

皆が知っている曲をチョイスし、日ごろの練習の成果を見事に発表していました。

また、弟子屈小学校吹奏楽部とのコラボも行われ、パフォーマンスも披露するなど、集まった町民も手拍子で、楽しいひと時を過ごさせていただきました。これからもこのようなコンサートを楽しみにしております。

職務代理 藤原 将男



*** 編集後記 ***

今年に入って屈斜路カルデラの「雲海」がクローズアップされ、ツアーも実施されるなど、新たな弟子屈町の魅力が観光客の方に感動を与えています。雲海の見頃は10月末までのようですので、早起きして見てみたいものですね。

さて、次回の教育委員コラムの発行は11月を予定しております。お楽しみに…。

弟子屈町教育委員会

委員長 小澤 重
職務代理 藤原 将男
委員 榎本 悦子
委員 菅原 誓之
教育長 小林 俊夫

